

知能化社会と共に進化する Well-being 時代のものづくり戦略

【基調講演】 Vehicle sound quality and its application
Department of Automotive Engineering, Kookmin University
Shin, Sung-Hwan

【基調講演】 2050 年に向けた持続可能な技術革新
: JSME 技術ロードマップに基づく展望
株式会社日立ハイテク ものづくり・技術統括本部
山崎 美稀

【特別講演】 New energy vehicles and their sound / NVH design
広州汽車集団 Chief engineer office, GAC Automotive R&D Center, GAC GROUP
田畑 俊幸

- 【会 期】 2024 年(令和 6 年)9 月 12 日(木)~13 日(金) 両日共に 9:30~18:00
【会 場】 中央大学 後樂園キャンパス 3 号館 14 階 31403・04 室 (オンライン参加可)
【主 催】 (一社)スマートサウンドデザインソサエティ(SSDS) 日本モーダル解析協議会(JMAC)
【協 賛】 (公社)自動車技術会 (一社)日本音響学会 (一社)日本機械学会 (公社)日本騒音制御工学会
(特非)ヒューマンインタフェース学会

日本モーダル解析協議会(JMAC)は、振動騒音、音質や感性評価などダイナミクス関連の実験や解析技術者へ情報発信と若手エンジニアの育成を推進することを目的に、1991年発足から毎年技術講演会を開催して参りました。

2024年度SSDS/JMAC技術講演会は、“知能化社会と共に進化するWell-being時代のものづくり戦略”をテーマに、大学・産業界の第一線で活躍されている講師をお迎えして技術講演・研究事例発表を行います。また、併設展示会「サウンド&バイブレーションデザインフェア2024」を通して振動騒音、音質や感性評価などに関する最新の情報収集や意見交換ができ、産学官の人的交流にも貴重な機会となります。万障お繰り合わせの上、是非ご参加頂き、日々の業務にお役立てください。

一般社団法人 スマートサウンドデザインソサエティ 代表理事 中央大学 理工学部 教授 戸井 武司
日本モーダル解析協議会 会長 中央大学 名誉教授 大久保 信行

参加費(2日間)

法人(1~3名)	¥35,000
個人一般	¥15,000
法人会員(SSDS 1~3名)	無料
個人会員(協賛学会およびSSDS)	¥12,000

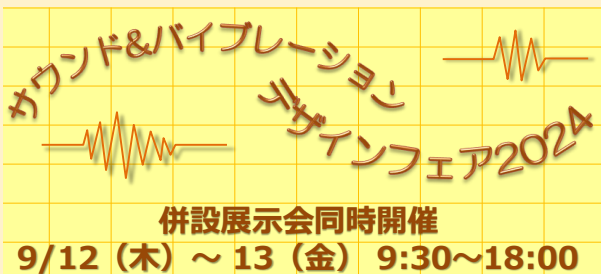
※参加費には消費税が含まれています

参加申込み等、詳しくは下記
ホームページにアクセスを
お願い致します。

日本モーダル解析協議会(JMAC)
<https://modal.jp/>



サウンド&バイブレーションデザインフェア 2024



振動騒音、音質や感性評価の専門展示会

イー・アイ・ソル、小野測器、シーメンス、
東陽テクニカ、ヘッドアコースティクスジャパン、
ホットィンガー・ブリュエル・ケアー、
ポリテックジャパン、丸文、リオン

<https://www.modal.jp/event/exhibit2024.html>

9/12(木) 2024 年度 SSDS/JMAC 技術講演会 I

9:30	---
10:00	--- 開会挨拶・ガイダンス・展示会 --- * 講師や参加者との交流、および展示会社の最新製品をご覧ください*
10:00	【基調講演】 Vehicle sound quality and its application In this speech, the necessity of sound quality in the field of vehicles and the history of related research in Korea are focused on. Also, Examples that the concept of sound quality is applied in product monitoring and diagnosis are shown. Department of Automotive Engineering, Kookmin University Professor Shin, Sung-Hwan
11:20	市販車におけるスポーツサウンド開発事例紹介 Honda のフラッグシップスポーツカーである NSX TypeS の開発を実例に、お客様に響く官能スポーツサウンド実現のための音色の考え方やハード検討などを紹介する。 本田技研工業株式会社 四輪事業本部 四輪開発センター ICE 完成車開発統括部 車両開発三部 NV・車体剛性開発課 Staff Engineer 佐藤 雅祥
12:05	---
12:05	--- ラボツアー・休憩・展示会 --- * 戸井研究室の紹介、講師や参加者との交流、および展示会社の最新製品をご覧ください*
13:30	菓子事業における「心の健康」への貢献 ～情緒的価値解明に向けた取り組み～ 2030 年までにウェルネスカンパニーへの変革を掲げ、心・体・環境の健康の三つの価値提供を核とした経営を推進している森永製菓グループの R&D 部門における「心の健康」の貢献に向けた取り組みを紹介する。 森永製菓株式会社 研究所 執行役員 フェロー 河本 政人
14:15	ユーザインタフェースとしてのサウンドの設計 機器の操作音、報知音、警告音といったユーザインタフェースとしてのサウンドの役割を述べるとともに、「サウンドの使い方の設計」と「サウンドそのもののデザイン」について解説する。 同志社女子大学 学芸学部 メディア創造学科 教授 和氣 早苗
15:00	---
15:00	--- 休憩・展示会 --- * 展示会社の最新製品をご覧ください*
15:30	サウンドデザインのフレームワーク 音環境観点での well-being とは何か、音と人と場の関係性を基礎として、機能的価値と意味的価値、快接近と不快回避、知覚と認知、空間と場所などの二項関係のフレームを通じてサウンドデザインを議論する。 株式会社 Sound One 取締役 石田 康二
16:15	知能化社会と共に進化する Well-being 時代のスマートサウンドデザイン 製品音に着目した製品価値の向上のみならず、人の体験価値や社会の空間価値を高め、知能化社会と共に進化する Well-being 時代のスマートサウンドデザインの取り組みについて事例を交えて紹介する。 中央大学 理工学部 教授 / 一般社団法人スマートサウンドデザインソサエティ 代表理事 戸井 武司
17:00	---
17:00	--- 展示会・交流会（～18:00）、懇親会（～20:00） --- * 講師や参加者との交流、および展示会社の最新製品をご覧ください*
20:00	---

9/13(金) 2024年度 SSDS/JMAC 技術講演会 II

9:30	---
10:00	--- 開会挨拶・ガイダンス・展示会 --- * 講師や参加者との交流、および展示会社の最新製品をご覧ください*
10:00	【基調講演】 2050 年に向けた持続可能な技術革新：JSME 技術ロードマップに基づく展望 日本機械学会が展開する 2050 年の社会像を支える技術戦略に焦点を当て、知能化社会と進化する Well-being 時代において、サステナビリティ、循環経済、エネルギー革新を統合した JSME 技術ロードマップを用いて、未来のものづくりに向けた実践的戦略について紹介する。 株式会社日立ハイテク ものづくり・技術統括本部 主管技師 山崎 美稀
11:20	リアルとバーチャルを繋ぐデータ同化のものづくり分野への応用 リアル（実験）の情報を最大活用し、バーチャル（シミュレーション）での現象予測の精度を高めるとともに、直接計測できない現象を推測できるデータ同化のものづくり分野への応用事例を紹介する。 東京農工大学 大学院工学研究院 先端機械システム部門 教授 山中 晃徳
12:05	---
12:05	--- ラボツアー・休憩・展示会 --- * 戸井研究室の紹介、講師や参加者との交流、および展示会社の最新製品をご覧ください*
13:30	【特別講演】 New energy vehicles and their sound / NVH design 最新の新エネルギー車の中国を中心とした世界の最新技術動向と、それらの車に求められ、搭載されるサウンドと NVH 技術を解説する。Active スポーティ加速サウンド design、スマートコクピット3D サウンド、新トレンドの BEV と REEV 同時対応 Module 車体と Unboxed Process 対応技術等も紹介する。 広州汽車集団 Chief engineer office, GAC Automotive R&D Center, GAC GROUP 技術顧問 田畑 俊幸
15:00	---
15:00	--- 休憩・展示会 --- * 展示会社の最新製品をご覧ください*
15:30	吸音・遮音メカニズムと三井化学の NV への取り組み 高性能な吸音・遮音に必須の多孔質材料の基本的な吸音メカニズムについての説明と、不織布・ウレタンをはじめとした当社の NV 関連素材について紹介する。 三井化学株式会社 高分子・複合材料研究所 フロンティアサイエンスグループ 中川 博
16:15	音響加振による構造物劣化診断技術の取り組み 近年建築物やインフラ構造物では経年劣化が進み、定期的なハンマ打音評価なども行われているが、熟練者不足により省人化、診断手法の自動化も要望されている。本講演では非接触型音響診断技術の取り組みについて紹介する。 株式会社東芝 研究開発センター 知能化システム研究所 機械システムラボラトリー 江波戸 明彦
17:00	---
17:00	--- 展示会・交流会 --- * 講師や参加者との交流、および展示会社の最新製品をご覧ください*
18:00	---